

～人権が尊重されるまちをつくろう～
～身近な生活の中から学ぼう～

2020.6.21
第 71 号

人権・同和教育だより 丹波篠山

発行
丹波篠山市
人権・同和教育研究協議会
TEL・FAX 079-593-1260
<http://www.pure.ne.jp/~jinzen/index.html>
〒669-2734 丹波篠山市宮田240
丹波篠山市役所 西紀支所3F
年3回発行 6・10・2月

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会 2020年度活動計画について

5月16日（土）に「丹波篠山市人権・同和教育研究協議会 第22回定期総会」を開催予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきました。今年度は特例として代議員のみなさまに書面決議をいただきました。議案は2020年度基本方針・活動方針および事業計画・予算を含め、すべて書面決議にて承認されました。

基本方針（要旨）

- 今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の幸せにつながる「人権のまちづくり」を推し進めます。
- 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」等人権関係法令の趣旨を踏まえ、人権確立をめざす個人、団体、機関等と広く連携し、差別のない共に生きる社会をめざします。
- 市民の人権・同和学習活動の場を確保し、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・世間づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会をめざします。

活動方針（要旨）

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会は、発足以来「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。



しかしながら、私たちの社会は、人間関係の希薄化や地域内での連帯感の欠如を生み、他人の痛みに無関心になるなど人権に関わる大きな問題を発生させてています。また、時代の変化と共に、認知症に関する無理解や偏見、児童や高齢者への虐待、子どもや若者の貧困、災害避難者へのいじめ、DV、ストーカー行為、LGBTなど性的マイノリティへの無理解、インターネットによる差別情報の氾濫、パワハラ、セクハラなどが社会問題となっており、まだまだ人権意識が定着していない現実がみられます。

さらに、新型コロナウイルス感染症という新たな世界的な感染と対峙することとなり、先の見えない不安から新たな差別を生むなど人権に関わる問題も見えてきました。

こうした多くの課題解決のために、これらを自分事ととらえ、当事者意識を持つことが連帯感を培い、共に生きる社会の意識を強めることにつながります。そしてそのことが差別を許さない市民意識の醸成（人権の世間づくり）へと進める事ができるのです。

本年度も、これらのことの大切にしながら市民の皆様と共に、市民一人一人の人権が侵害されることなく、誰もが幸せを実感できる、人権を大切にしたまちづくりを進めます。



2020年度の出発にあたり

会長 溝畑 賢

人は、他の人と触れ合い、共感し、繋がり、連帯し、共に生きていくことに喜びを感じます。しかし、今、私たちは新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、外出の自粛や人との触れ合いを避けることを余儀なくされ、先の見えない不安の中にいます。誰もが感染者になりうる不安の中にいる今こそ、共に連帯し、「みんなで共に」立ち向かう姿勢が求められているのです。

この感染症は誰もがかかる可能性があります。つまり誰もが当事者です。みんなが我が事としてとらえています。人権問題も同じです。全ての人が互いに尊敬しあい、人権を大切にしあう当事者として、共に生きていくのです。そして、「全ての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。」（世界人権宣言1948年）や「人間は尊敬すべきもの」（水平社宣言1922年）の理念を、この社会の中で、生活の中で実践していくのです。

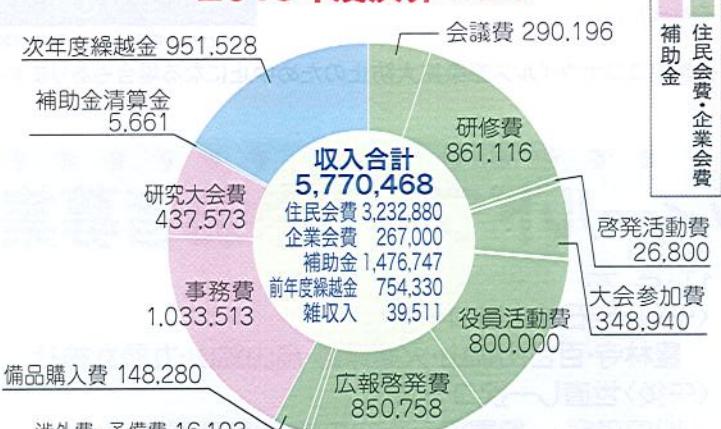
人権・同和教育は、他の人の人権を踏みにじって納得したり、人を排除して満足している自分を自覚することから始まります。そういう自分と決別し、人権を大切にし、差別をなくす当事者として、「人間の素晴らしさ」や「人間は尊敬すべきもの」を体得し、共に生きていこうとする人づくりの教育なのです。今、先の見えない不安の中にいる私たちであるからこそ、人権・同和教育を正しく理解し、共に連帯し、立ち向かおうではありませんか。そして、人を尊敬しあい、人権意識豊かで心あたたかな丹波篠山市をつくりあげていきましょう。

今年度も、丹波篠山市同教へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

理 顧 会 会 副 会
森 藤 山 計 中 太 堀 藤 細 五 会 溝
事 本 問 崎 監 村 計 田 田 見 十 長 畑 長
(団 体 選 出) 正 福 義 直 鈴 香 泰 賢
46 名 己 博 美 子 織 造 悟 潤

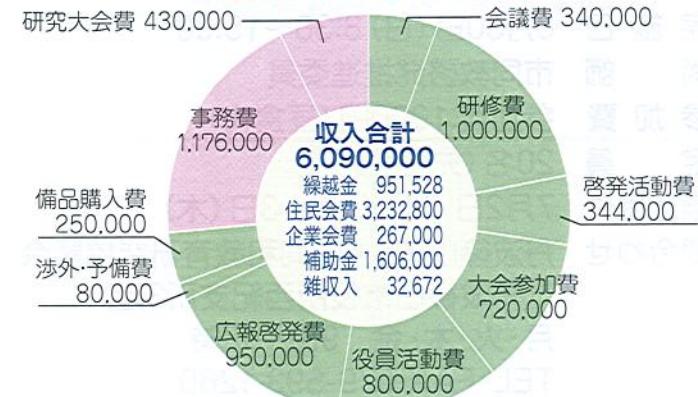
役員紹介

2019年度決算（単位:円）



※補助金は、市からの補助金8,932,000円より人件費7,455,253円を除いた事業補助金です。

2020年度予算（単位:円）



※補助金は、市からの補助金8,941,000円より人件費7,335,000円を除いた事業補助金です。

「人権・同和教育セミナー」受講のお知らせ

“人権意識の高いまち 丹波篠山市”をめざし、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講します。

丹波篠山市同教では、差別をなくす実践力をさらに強くしたい方、人権・同和学習をもっと深めたい方、人権・同和教育研究をさらに進めたい方等々のため、人権・同和教育で活躍されておられる方を招き、1年間にわたる連続講座を企画しました。皆様の受講をお待ちしております。

参加費：無料

会場：未定（決まり次第、受講生へお知らせします）

日程・内容など

（新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります）

	実施予定日	テーマ	内 容	講 師
1回	9月19日（土） 14:00~16:00	差別とは 差別の現状と 課題	差別の構造 根強くある差別の 現状を知る	関西学院大学非常勤講師 細田 勉さん
2回	10月17日（土） 14:00~16:00	人権の歴史1	古代～中世～近世 ケガレ意識と差別	じんけんSCHOLA共同代表 上杉 聰さん
3回	11月21日（土） 14:00~16:00	人権の歴史2	解放令～現代	じんけんSCHOLA共同代表 上杉 聰さん
4回	1月16日（土） 14:00~16:00	丹波篠山の 人権の歴史	丹波篠山の人権の 歴史を知り、身近 に差別をとらえる	市同教啓発推進委員 今井 進さん
5回	2月20日（土） 14:00~16:00	差別のない 社会を	差別をなくしていく 主体者として	三木市人権・同和教育協議会 春川 政信さん

お申し込み先：丹波篠山市人権・同和教育研究協議会 事務局
電話/FAX：079-593-1260

